

麻布幼稚園だより 4月号

平成27年4月8日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

「心機一転」

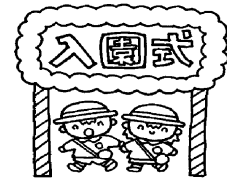
園長 大島 美知代

入園・進級おめでとうございます。平成27年度が始まりました。春季休業日にワックスを塗っていただいたピカピカの保育室の床も、昨年度園児たちとたくさん遊んだ積木や巧技台、ままごと道具、園庭の固定遊具も園児が来るのを心待ちにしていました。私たち教職員も、環境整備や安全点検を行ったり、それぞれの学級の指導について話し合ったりし、園児の登園をとっても楽しみにしていました。静かだった麻布幼稚園に、新しい息吹が吹き込まれ、にぎやかな声が響く毎日が始まります。



今年度は3年保育3年目。年長きく組は本園では初めての3歳児として入園した園児たちです。麻布幼稚園の在園が3年目となり、3年間の指導の成果が問われます。私たち教員にとっても、2年保育と3年保育の園児の成長は、どのような違いが現われるのか等をしっかり検証し、自分たちの教育指導を自己評価しなくてはなりません。正しく評価を行い、港区の3年保育の指導の成果を出していかななくてはならないと考えています。

また今年度は11月に麻布小学校140周年と同時開催で、本園80周年記念式典を行います。「今年の園児たちはよい年に在園した。」と感じていただけるよう、園児の姿で示したいものです。「麻布幼稚園が大好き！」と感じてみんなの前で堂々と表現したり、友達や他学年の園児とも協調して活動したり、主体的にのびのびと活動したりできる園児に育てたいと思います。



今年度は「心機一転」です。「心機一転」とは「何かきっかけとなって望ましい状態になること、すること」と辞書に書いてあります。

その「きっかけ」は、どこにあるのでしょうか。私は幼稚園に集う園児を取り巻く大人の心の中にあるのだと思います。例えば幼稚園で教員は、自分の指導をもっと向上したいと願うことだったり、本園のよさをもっと伸ばしたいため、課題が見つかればその原因を追究し、改善するために研究することだったり、園児の気持ち、興味、関心をもっと理解するために行動を起こすことだったりします。

新しい園児や保護者の皆様を迎え、みんなで力を合わせ、園児の成長のために尽くし、自分の気持ちの中にある「きっかけ」を心機一転、望ましい状態になるようにしていきましょう。「今まで通りでいい」ではなく、どこがいいのか、ほかにより良い方法はないのかを丁寧に考えて教育活動を進めていきたいです。

保護者の皆様も平成27年度麻布幼稚園に入園したことを「きっかけ」として、園児の成長のため、「元気な幼稚園」・みんなに「やさしい幼稚園」そして「かんがえる幼稚園」（教育目標より）を目指していきましょう。

よろしく願いいたします。

